

特殊エポキシ樹脂錆止め塗料

無鉛

遮熱サビ止めプライマー

JIS K 5970



認定番号 3JP0302

F★★★★★

遮熱効果を付与した 金属用錆止めプライマー

防錆力が高く、かつ、安全性を持つ防錆顔料を配合した遮熱サビ止めプライマーは、強靱で、付着性に優れています。

さらに、塗膜に遮熱効果を付与したことで、従来にない遮熱性が得られます。

【特長】

- 1.環境を配慮した防錆塗料です。
環境を意識し、より安全性の高い防錆顔料を使用しています。
- 2.遮熱性を有しています。
遮熱サビ止めプライマーの塗膜が遮熱性を有しているため、遮熱塗料との組合せでさらに遮熱効果が得られます。
- 3.付着性に優れています。
特殊エポキシ樹脂の配合により、金属部への付着性に優れています。

【用途】

- 1.各金属部への錆止め用下塗り材
- 2.遮熱塗料の下塗り材

【上塗適性】

・フローン床材、フローン防水材、当社屋根用塗料等、各製品については、当社に御相談ください。

【製品仕様】

●容量・荷姿・配合比

品名	容量			配合比 (重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
遮熱サビ止め プライマー	15kg	3kg	18kg	5	1
	5kg	1kg	6kg		
ソルエポ シンナー	—	—	4L	—	
	—	—	16L		

●一般物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観 A液 B液	グレー色粘稠液 褐色粘稠液	
混合粘度	1000mPa・s	23℃
可使用時間	6時間	23℃
希釈割合	0~10%	ソルエポシンナー

上塗可能時間、可使用時間は季節・商品によって変わります。
(詳しくは裏面をご覧ください)

【防錆効果】

●ソルトスプレー 500時間



下塗材	遮熱サビ止めプライマー	エポキシ系錆止め塗料
上塗材	2液型ウレタン樹脂塗料	

【遮熱効果】

下塗材	上塗材	表面温度	温度差
遮熱サビ止めプライマー	スーパートップ 遮熱	52.0℃	-16.8℃
2液エポキシ錆止め塗料	アクリルウレタン樹脂屋根用塗料	68.8℃	—

試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

上塗可能時間

温度	5℃	23℃	30℃	40℃
可使用時間	10時間	6時間	5時間	3時間
最小塗装間隔	24時間	6時間	5時間	4時間

↑温度による可使用時間と最小塗装間隔の比較

施工時の気温により、遮熱サビ止めプライマーは可使用時間と最小塗装間隔が変動します。
また、商品によって最大塗装間隔が変わりますのでご注意ください。
(最大塗装間隔は施工時の温度によっては左右されません)

→弊社商品による最大塗装間隔の比較

商品	実曝テスト		最大塗装間隔
	2日	7日	
スーパートップ遮熱	○	○	7日
シリコンクール	○	×	2日
シリコンデフィー	○	×	2日
ハイフローン	○	×	2日
ソルエボ90	○	○	7日
AUコート	○	○	7日
パワフルフローア	○	○	7日
フローンアクアエボ	○	○	7日
水性フローア	○	×	2日
フローン55・50	○	○	7日
フローンフルトップ	○	○	7日
フローン22	○	○	7日
フローン11	○	○	7日
フローン01	○	○	7日

○→密着 ×→密着せず

付着性

金属素地	付着性	金属素地	付着性
鋼板	○	トタン	○
黒皮	○	カラータン	○
ステンレス	○	ボンデ鋼板	○
電気亜鉛メッキ	○	ブリキ	○
溶融亜鉛メッキ	○	アルミ	○

下地塗料	付着性	下地塗料	付着性
フタル酸樹脂塗料	○	パワフルフローア	○
フタル酸錆止め塗料	○	フローン55	○
ハイフローン	○	フローンアクアエボ	○
ソルエボ90	○		
AUコート	○		

標準工法

工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能 時間	備考
1	素地調整	—	—	必ず2種ケレン以上を実施して下さい。(3種、4種ケレンでは不十分です) (下記、ケレンの状態、方法は素地調査の項目をご参照ください)
2	遮熱サビ止めプライマー ソルエボシンナー	0.16 0~0.02	6時間~7日間	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、必要に応じて ソルエボシンナーにて0~10%希釈し、ハケ、中毛ローラーにて塗布。
3	スーパートップ遮熱 トップ14シンナー	0.15 0.02~0.03	4~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、トップ14 シンナーにて10~20%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
4	スーパートップ遮熱 トップ14シンナー	0.15 0.02~0.03	—	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、攪拌後、トップ14 シンナーにて10~20%希釈し、中毛ローラーにて塗布。

*遮熱サビ止めプライマーの上塗可能時間を経過した場合には、目荒らしを行って下さい。
*遮熱サビ止めプライマーは、0.16kg/m²使用で平均膜厚50μmです。

素地調整

素地調整の程度	既存塗膜の状態	素地調整後の素地状態	工具および工法	SSPC規格
1種ケレン	とくに腐食の著しい状態	塗膜、錆を完全に除去し、 ピカピカした金属面とする。	ブラスト法	SSPC-SP5 SSPC-SP10
2種ケレン	塗膜が劣化し、腐食のはな はだしい状態	塗膜及び錆を除去し、鉄肌をあら わす。活膜が存在する場合は、残す。	ディスクサンダーなど動力工具と ワイヤーブラシなど手工具の併用	SSPC-SP3
3種ケレン	塗膜の殆どが活膜で部分的に 損傷や発錆が見られる状態	全面に工具をあて劣化塗膜を除去し、 発錆部は錆を落とし鉄肌をあらわす。	(同上)	SSPC-SP2
4種ケレン	活膜であって変色・白亜化・ 付着物などが多い状態	粉化物および汚れを除去 し清浄にする。	ワイヤーブラシやサンド ペーパーなどの手工具	—

SSPC 表面処理規格(アメリカ)

施工上の注意事項

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全にに取り除き、十分に乾燥させておくことが必要です。
- 遮熱サビ止めプライマーは、2液の反応型塗料ですので、配合比はA液:B液=5:1(重量比)で計量し、充分攪拌したのち使用して下さい。
- A液とB液の混合と同時に反応が進み、次第に粘度が上昇しゲル化しますので、使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。使用可能時間(ポットライフ)は6時間(23℃)です。施工時の温度、施工面積、作業人数等を考慮して、無駄のないように材料の配合をして下さい。
- 希釈が必要な場合には、ソルエボシンナーで0~10%希釈してご使用下さい。
- 遮熱サビ止めプライマーは溶剤型塗料ですので、火気と換気には充分注意して下さい。
- 高湿度の場合や結露など水分の影響で白化することがあります。そのまま塗りを塗り重ねると層間の付着性が悪くなります。ペーパー掛け、シンナー拭きで白化した層を除去して下さい。
- 施工時の温度について(5℃以下では施工しないで下さい。)硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下	15℃~25℃	30℃以上
硬化後退	最適	硬化促進

- 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶接との並行作業は避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないように充分に注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。

*取り扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照下さい。
*詳細な内容が必要な場合には、製品安全シート(MSDS)をご参照下さい。
*製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます。

●お問い合わせは…



東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006	東京都葛飾区堀切3丁目25番18号	TEL 03(3693)0851(代)	FAX 03(3697)2306
埼玉工場/〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1丁目13番地	TEL 0480(65)1515(代)	FAX 0480(65)1518
札幌営業所/〒065-0043	札幌市東区苗穂町9丁目4番6号	TEL 011(743)5271(代)	FAX 011(743)5273
仙台営業所/〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野1丁目4番20号	TEL 022(291)7372(代)	FAX 022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871	新潟県新潟市山木戸3丁目7番9号	TEL 025(273)5749(代)	FAX 025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037	静岡県静岡市駿河区下島128番地1	TEL 054(238)8061(代)	FAX 054(238)8063